～臨床情報の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名　膵癌ゲムシタビン＋ナブパクリタキセル併用療法時の高ビリルビン血症と副作用発現に関する研究』

研究機関名　**東邦大学医療センター佐倉病院**
東邦大学医療センター大橋病院
東邦大学薬学部

研究責任者　**東邦大学薬学部　臨床薬剤学研究室**　　**職位・氏名　教授・増田雅行**

【情報の利用目的】

ゲムシタビン（GEM）＋ナブパクリタキセル（nab-PTX）併用療法（GnP 療法）行う際に血液中の総ビリルビンの値が高値であることが代表的な副作用である骨髄抑制発現にどのように影響するかを明らかにすることを目的とした研究に利用します。
この研究で得られる成果は、がん化学療法（GnP 療法）の適正化（患者さんの選定や投与量の調節）につながります。

【他機関への提供】

収集した情報は、解析・管理のため東邦大学薬学部臨床薬剤学研究室に提供します。提供は（記録媒体）の形式で行います。提供するデータは、アップロードするファイルが全て暗号化されるため安全性が高い大学内クラウドである Box、または大学のファイル送信サービスを使用し提供することで情報漏洩のリスクを最小限にしております。

【研究に用いられる情報】

情報：病歴、診療の治療歴、検査データ、副作用等の発生状況、個人情報　等
研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。
今回の研究で得られた情報を他の研究で再度利用する場合は、再度倫理委員会での審査を受けると共に、患者さん等からデータ利用を拒絶する機会を設けます。

【情報の利用または提供を開始する予定日】

2026 年 2 月より利用を開始します。

【情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター佐倉病院　　病院長　鈴木　啓悦
東邦大学医療センター大橋病院　　病院長　渡邉　　学

【情報の取得方法】

対象者：2014 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日までに東邦大学医療センター佐倉病院および大橋病院において、切除不能膵癌と診断され、GnP 療法による治療を受けた方
方　法：病院診療録（カルテ）から抽出したデータ等を解析します

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学薬学部　臨床薬剤学研究室　研究代表者: 増田雅行　役職: 教授

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター佐倉病院　薬剤部	土井啓員(薬剤部長)
	佐藤直子(副部長)
	平井成和(室長)
東邦大学医療センター大橋病院　薬剤部	小林加寿子(薬剤部長)
	木村麗砂(部長補佐)
	上岡彩佳(室長)
東邦大学薬学部　臨床薬剤学研究室	増田雅行(教授)
	瀧川正紀(講師)
	佐々木蘭(学生)

【情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学薬学部　増田雅行

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、2026 年 3 月 31 日までに下記へご連絡下さい。不幸にも患者さんが亡くなられている場合でも、配偶者、父母、兄弟姉妹、子・孫、祖父母、同居の親族またはそれら近親者に準ずる方、及び代理人(代理権を付与された任意後見人を含む)の方からの申し出も受け付けます。申し出のあった方の情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター佐倉病院　薬剤部
職位・氏名　室長・平井成和
電話　代)043-462-8811
東邦大学医療センター大橋病院　薬剤部
職位・氏名　部長補佐・木村麗砂
電話　代)03-3468-1251